ふふ♥
いっぱいシコシコしろよー♥

「○○っ♥一緒に帰ろっ」
「モモ！急に出てくるなよ
びっくりするだろ」
モモと付き合ってからもう一ヶ月。
一目惚れして告白したら実は両想いで
付き合えたのは奇跡だと今でも思う。

「ごめんごめん(笑)
ウチ来てくれるって
聞いてから嬉しくって…」
「ったく…大袈裟だなぁ…」
「えへへ…早く行こっ♥
お姉ちゃん大学早めに終わったから
待ってるって！」
「はいはい…っと」

「上がって上がって～！」
「お邪魔します…すごい綺麗なお家だな…掃除も行き届いてて…」
「でしょでしょ～？うちのお姉ちゃんしっかり者で」
「あら？」

「君がモモの彼氏くん？初めまして」
「あ！アザミお姉ちゃん！」
（この人がモモの姉のアザミさん…
なんかエロい雰囲気してるな…）
「は、はい！モモとお付き合い
させてもらってます！」
「へぇ……君が……」

「そうだ、さっき学校から未提出の書類の件で電話があったわ」
「え!? マジで!?……あ！進路希望のやつ!?」
「早く行ってきなさい○○くんの『面接』して待ってるから」
「あ、あはは…お手柔らかに…」
「ごめんっ！○○！すぐ行ってすぐ帰ってくる！」

数分後
「ふふ、モモったらおっちょこちょいね」
「はい、でもそこが可愛くって…」
（妖艶って雰囲気だけど
すっごい喋りやすいなぁアザミさん…
抱擁感というか…すごい聞き上手っていうか…）
「ところで…○○くん」
「！　はい！何ですか？」

「君って童貞？」
「はい！……
って、急に何聞くんですか!?」
「ふふ、ごめんね
やっぱり興味あったから」
「も、もう…お姉さんって意外と
お茶目なんですね」
「そうね、よく言われる
実際いたずらするの大好きだもの」

「い、いたずら…そ、そうなんですね…」
「でもそっかぁ童貞かぁ…♥
まだモモとセックスしてないんだぁ…♥」
やばっ…勃起してきた…っ
「もしかして今日するつもりだった？」
「い、いや!?ち、ち、ちがいますけど!?」
「ふふ、動揺しすぎてバレバレだよ？」

「別に怒ってるわけじゃないよ？
むしろ逆。心配してるの
童貞くんがモモのこと満足させられるか
初めて同士で失敗してギクシャクしないかなぁ？」
「そ、それはっ…」
たしかに…モモのこと満足させられなかったら
気まずくなって……
「だからぁ…」

「私で『練習』、しよ？」
「!? そ、それってうわk…」
『違うよ？『練習』だよ？
君が可愛くて良い子だからモモと
良いカップルであって欲しいの」
「そのためにはセックスは上手くないと…
モモって毎日3回マンズr…
オナニーするくらい性欲強いんだから」
「そ、そんな…っ」
「だから手取り足取り教えてあげる♥
ほら、ズボン脱いで？」

「い、いやでもやっぱり…！」

「遠慮しない…のっ」

カチャ…カチャ…ジー…

「って……何これ…」

「……」
「あ、あの…？」
アザミさんの目線が冷たく…？
「……ごめん、やっぱり良くないよね
こんなこと
もうしまっていいよ」
「え…？は、はい……」

「たっだいまー！……ってどうしたの二人ともー？」
「え、あ、なん、なんでもない！」
「……」

その後アザミさんは友人と遊びに行った。
モモと初めてのセックスをするチャンスだったが…
アザミさんの発言や顔が忘れられなくてそんな気分になれなかった…

夜…
（はぁ…せっかく妹の彼氏を寝取ってマンズリコキたかったのに…
あんな粗チンありえないでしょ……）
（ていうかモモもモモだよ
あんなのじゃ絶対気持ち良くなれない…
姉としてセックスの気持ち良さをちゃんと伝えないと…
でもモモ…結構ゾッコンっぽいからなぁ…）

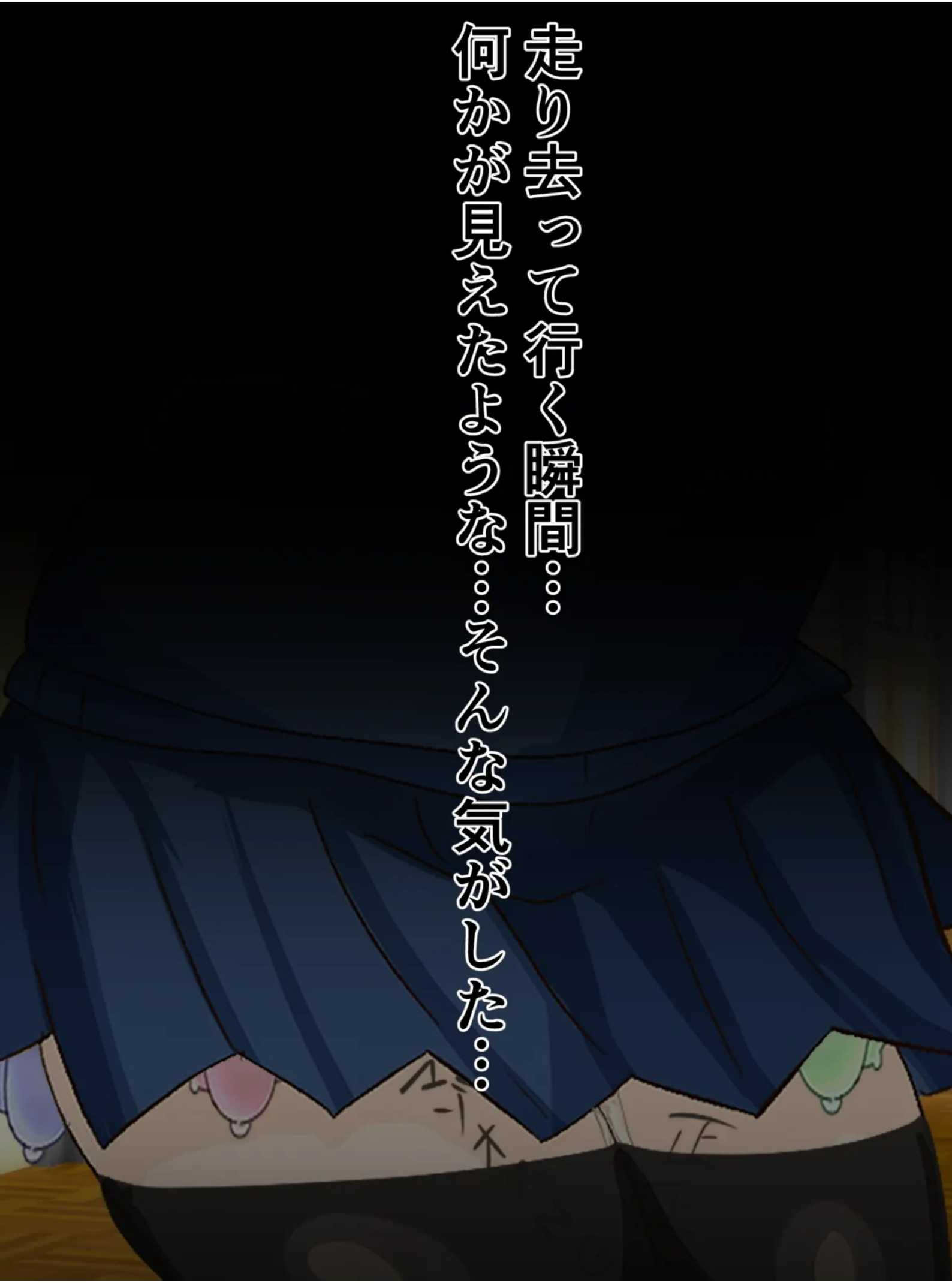
……
「……良いこと思いついちゃった♥」
（いいよね、あんな粗チン選ぶモモが悪いんだし…♥
それに彼氏くんに素質があればモモにとっても最高のパートナーになれる…♥私はオモチャが手に入るってことで…♥）

しばらくモモが学校に来ない日があった。
電話も出ず既読にもならないので
家にも行ったがそれも留守のようで…
先生に聞いたが家庭の事情らしくそれ以上は
教えてもらえなかった。
「海外旅行にでも行ってんのか…？」
一週間が過ぎ、警察に相談しようと決めた。
しかしその日の放課後…

「○○っ！」
「モモ!!」
モモと再会した。
「モモ…っ！返信も電話もなくて心配したんだぞ!?
一体どこ行ってたんだよ!?」
「あはは…ごめんごめん…♥」

「ったく…本当無事で良かった…」
「心配してくれてありがと…
でもこれからまた行かないと
いけないところがあって…♥」
「えぇ!?どこに行くんだよ…!
せっかく会えたってのに…」
「ごめん…
あたしも話したいことといっぱいあるけど
今は無理だからさ…」

「これ、お土産♥」
「？　お土産？旅行でも行って…
ん？ＵＳＢ…？」
「一人で見ろよー！
恥ずかしかったんだから…♥
じゃっ♥」
「は!? あっ、おい！モモ！」
モモは走り去ってしまった。


走り去って行く瞬間…
何かが見えたような…そんな気がした…

夜

「…相変わらず電話も既読もつかないな…」

ただ一言、『大好きだよ』というモモのメッセージ以降、何の反応もなかった。

「……あのUSB、見てみるか」

パソコンを立ち上げUSBを挿入し中のファイルを開ける。

「動画だ……
タイトルは…『豚姉妹調教記録』…？」

胸騒ぎ……タイトルから感じる不穏な気配に
嫌な予感がする…

そしてそれは的中した。

俺はクリックしたことを一生後悔することになる。

ポチッ…

「お、お姉ちゃん…これで本当に
〇〇喜んでくれるの…？」

「ふふ、さっきも言ったでしょ？
これは〇〇くんが望んだこと
今までであなたに手を出さなかったのも
そういうことなのよ」

「で、でも…やっぱり…」

「モモ、本当は期待してるんでしょ？
だって…そんなに濡らして…♥」

な、なんだ…!?何の話をしてるんだ!?

『おいコラ豚供、もう録画回ってんだよ
さっさと始めんぞ』

ウェーイ彼氏クン見てるー？ｗｗ
ふふ♥
うぇ、うぇーい…○○～…♥
!?

「な、なんだよ…何だよこれ…!? どういうことなんだよ…!?」
今からお前の彼女俺専用のマゾ豚にすっからちゃんと見とけよw
「ふ、ふざけんな！やめろ！」
しかし動画の中に声が届くはずもなく…

おい豚供何か一言ずつ言ってやれw
そうねぇ…まずは私から…♥
○○くん、このサプライズ動画は私のアイデア♥
寝取られマゾの○○くんに最高のプレゼントがしたいって思ったの♥私のご主人様に頼んでこの場を設けてもらったわ♥
まあ詳しいことは次会った時にじっくり…♥シましょうね♥

え～っと…じゃあ次…あたし…♥
ね…寝取られマゾってことに
気がつけなくてごめんね～○○～…
あたしマジで○○のことラブだから…
えっと…頑張るから…捨てないでほしいな…
そゆことで…あたしの処女卒業と…
マ、マゾ豚調教で
いっぱいシコシコしろよ～…♥

な、何だよ寝取られマゾって…!?
どういうことだよ…!?

よーし終わったな…
てかお前らさっきから
チンポ見過ぎだろw

だ、だってぇ…♥
ネットで見たのよりずっと
デッカいんだもん…♥

チラ…♡

ドキドキ♡

うふふ、そうね…♥
ほんっと…何度見ても立派な
オチンポ…♥
どこかの誰かとは大違い♥

あーもうお姉ちゃんってば…
○○の悪口言わないでよ…♥
私まだ○○のチンポ先に見たこと
許してないんだからね♥

ジー…♡

ふふ♥
でも私が教えなきゃこのオチンポ様とは
出会えなかったわよ?

っ…!?
あ、あの時の…!?

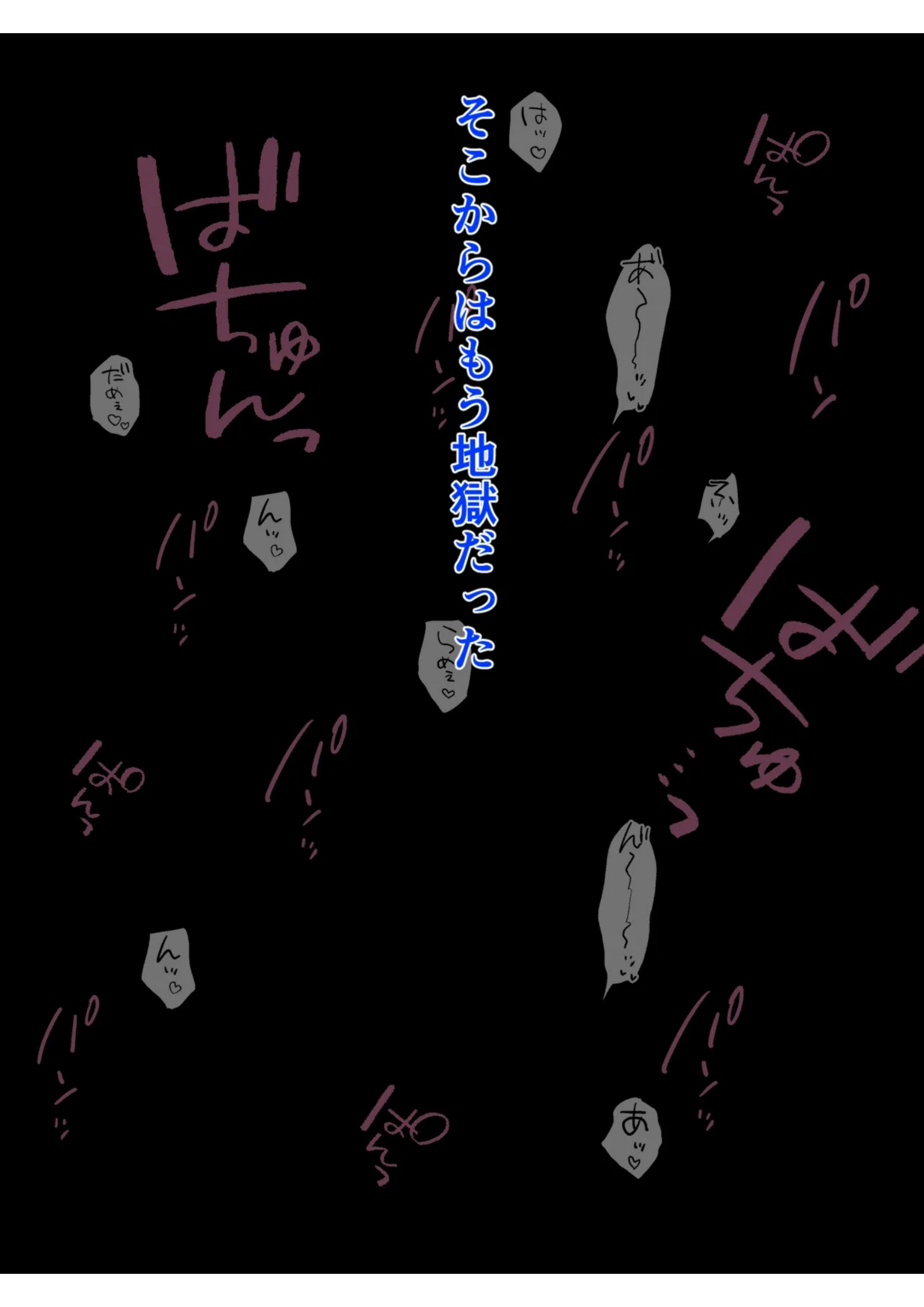
うー…お姉ちゃんのいじわる…♥

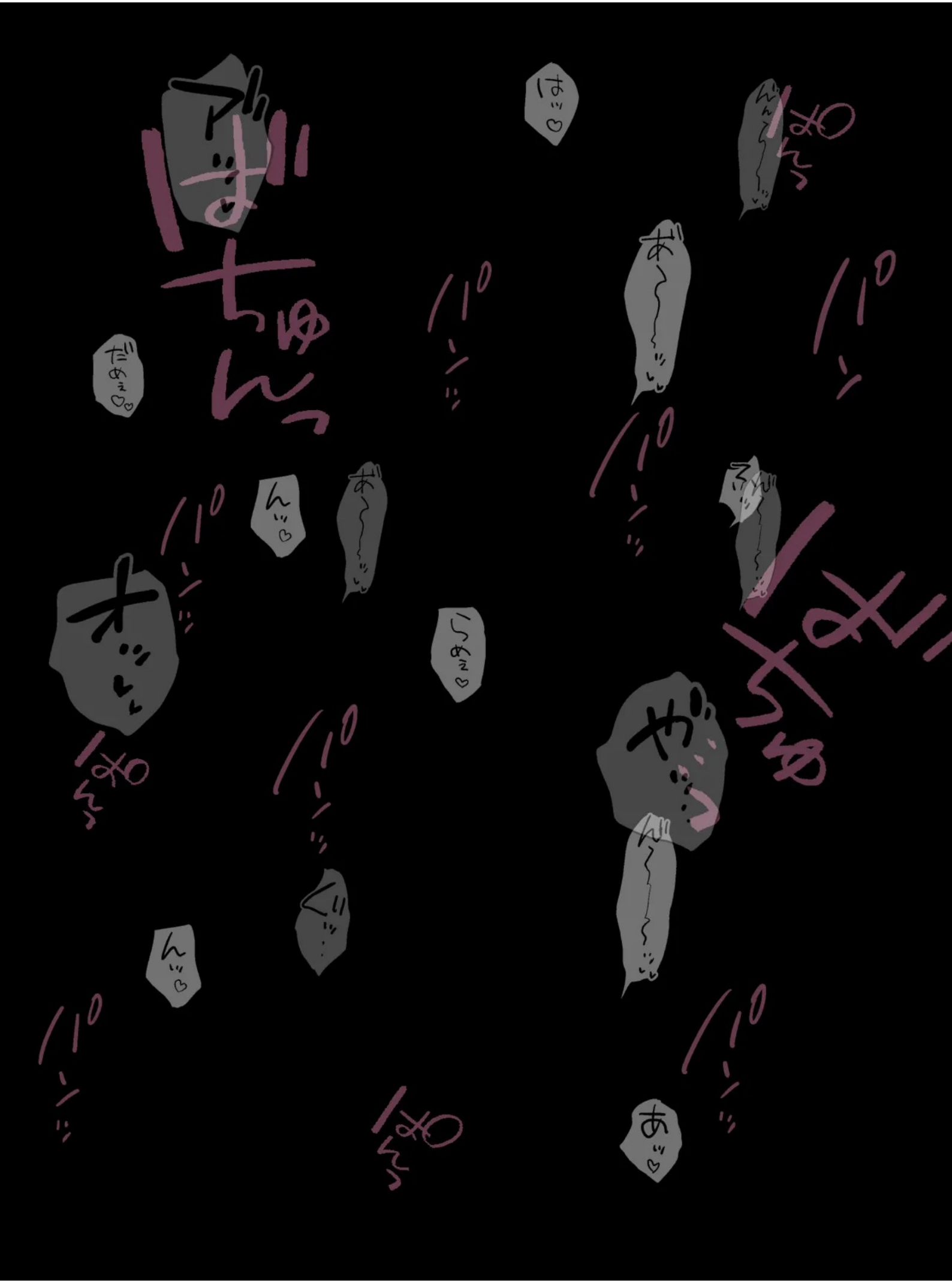
彼氏クンには同情するわw
こんな脳味噌までマンコ脳の
底辺マゾ豚女と付き合ってるとかw
豚女見とけよ
これがテメェの処女膜
ブチ破るチンポだからな
う～…♥ぶ、ぶたじゃないもん…♥
口答えしちゃダメよモモ♥
このオチンポがあなたのご主人様に
なるんだから♥
それに安心して？私たちは底辺のマゾ豚
でも最底辺ではないわ♥
さっき教えたでしょう？
最底辺は……♥

ムニュ
マゾオス♥
なんだもの♥

○○くん、この動画を見ている頃には
きっともうギンギンに粗チンを勃たせてるわ♥
そんな情けないオスよりも下な訳ないでしょう？
ひっでーｗｗｗｗ
テメェのマンコ快楽のためだけに
妹差し出す女よりも格下だってよｗｗｗｗ
ひどいよお姉ちゃん…♥
今まで尊敬してたのに…♥
あたしや○○のためとか言って
本当はそんなこと考えてたんだ…♥
ん～？二人のためにっていうのは本当よ？
短小包茎チンポ以外は良い子だと思ったし
二人には末永く幸せになってほしいの♥
寝取られマゾとマゾ豚カップルとして…ね♥

ズ
○○くん
たとえ万が一モモとオマンコできたとしても…♥
強オスご主人様の優秀メス殺しチンポが
モモの永遠のスタンダード…♥
つまりこの先永遠に比較される運命…♥
○○くん、受け入れた方が気持ち良いわよ？


そこからはもう地獄だった
はッ♡
だめぇ♡
んッ♡
らめぇ♡
あ～～ッ
ふッ
んッ♡
あッ♡


ぱぁ
ちゅぱっ
だめぇ♡
ん♡
あ〜
ぱ
ぱ
ぱ

ほぉぉぉ

ドピュッ…♡

ピュッ♡

ピュリュッ…♡

おい豚、一言

ぶしゃ
ぶしゃ
ぶしゃ

豚のくせに人様の言葉使ってんじゃねぇよw
あぅっ…ご、ごめんなしゃ…♥
ブヒィだろ？
やめてくれ…モモ…

やめてくれ
ぶ…♥ブヒィ…っ♥
もっと
もう…！やめてくれ…！
ぶ、ブヒィっ♥
舐めてんのか？
廃棄するしかねぇな

ブヒィィィィッ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ

ぶっ
ぶっ
ぶっ

じゃあなwザコオスw

シークバーが走り切った後も
俺はその場で固まっていた。
絶望、疲労、そして快楽で動くことが
できなかったんだ……